

1	2	3	4	5	6	7	8
現状認識	主な経営課題	取組み項目	②予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)
当区は与謝蕪村、貴志康一を輩出したほか、区内には多くの史跡が点在するなど歴史・文化に恵まれた土地柄である。	【区の特徴を活かしたまちづくりの推進】 区の財産を未来に引き継ぎ、わがまちへの愛着を育てるため、こうした区の特徴や資源を活用して、潤いのあるまちづくりを推進する必要がある。	①蕪村公園の完成に合わせ、与謝蕪村のふるさと都島をアピール ・ 俳句まつり ・ 蕪村探訪スタンプラリー ・ 蕪村の風景写真コンテスト	1,500	蕪村まつり 来場者数500名  俳句・風景写真コンテスト 応募者数200名	・ 蕪村まつり事業における俳句まつり手法について、外部アドバイザーと協議 (平成20年5月・6月) ・ 小学校教頭会で俳句まつり企画案の説明 (平成20年5月) ・ 蕪村の風景写真コンテストの実施手法について外部アドバイザーと協議 (平成20年9月) ・ 蕪村まつり企画大綱の作成 (平成20年10月)	○	蕪村まつり事業実施 (平成21年3月20日 蕪村公園で開催予定) ・ 蕪村まつり広報 (平成20年11～12月) ・ 俳句・風景写真コンテスト実施 (平成20年1月) ・ 関連事業の企画 ・ 参加予定団体との調整 (平成20年12～1月)
		②貴志康一生誕100年記念コンサートの開催	2,500	記念コンサートの開催	貴志康一生誕100年記念クラシックコンサート実行委員会の開催 (平成20年9月・10月)	○	記念コンサート (平成21年3月31日 ザ・シンフォニーホールで開催予定)
		③なにわの伝統野菜「毛馬キュウリ」の普及 ・ 苗の配布 ・ 毛馬キュウリを使った料理講習会の開催	253	苗の配布:1,000株 料理講習会の開催	・ 毛馬キュウリ苗を区内の教育施設や福祉施設及び公募した区民に1,000株を配布 (平成20年5月) ・ 伝統野菜料理講習会の開催 (平成20年8月8日開催 参加人数23名) ・ 毛馬キュウリ育成コンクールの開催 (参加人数 29名 表彰式 平成20年9月27日)	○	
未来わがまちビジョン推進会議をはじめ、まちづくり活動に取り組む団体やNPOが増加している。	【地域と協働ですすめるまちづくりの推進】 区民が主体的に取り組む地域活動を育て支援するとともに、情報交換や相互交流など団体間の連携を深め、発展させる仕組みを構築する必要がある。	①未来わがまちビジョンの推進 ・ 大川かたづけ隊の支援 ・ 桜まつりの開催 ・ 大川の魅力を紹介するマップの作成	1,035	・ 大川かたづけ隊と協働する団体の増加 ・ 桜まつりの実施 ・ 大川魅力マップの作成	大川かたづけ隊 ・ 大川かたづけ隊清掃活動を実施 (平成20年4・5・6・7・8・9・10月 延参加人数 232名) 桜まつり ・ 事業完了 (平成20年4月6日開催 参加人数 約1,000名) 大川魅力マップ ・ 未来わがまちビジョン推進会議マップ部会の開催 (平成20年7・8月)	○	大川かたづけ隊 ・ 毎月第3土曜日に清掃活動を実施 (毛馬桜之宮公園) ・ 他の清掃活動団体や公園利用者に協働を働きかけ活動の広がりを図る。 大川魅力マップ ・ 未来わがまちビジョン推進会議マップ部会において、マップを作成する。(平成20年3月)
		②未来わがまちビジョンの具体化を推進する活動を助成	1,965	まちづくり活動への助成	※対象経費の1/2、1事業30万円以下 ・ 募集 (平成20年4月) ・ 追加募集 (平成20年8月) ・ 審査会 (平成20年5・8月) (平成20年度 助成事業件数3件) ・ 選定事業の事業進捗状況を報告 (平成20年10月)	○	助成事業報告会の開催 (平成21年5月)
都心に近く、また淀川や大川、毛馬桜之宮公園など水と緑の豊かな自然環境に恵まれているため、大規模マンションが相次いで建設され、人口が増加している。	【豊かなふれあいのあるまちづくりの推進】 人口が増加している一方で、少子高齢化や核家族化などの背景もあり、地域コミュニティの活性化が必要である。	①種から育てる地域の花づくり事業 ボランティア活動を通じた区民相互の交流機会の創出	2,090	ボランティアの組織づくり	・ ボランティアを募集 (随時 延応募人数 29名) ・ ボランティア研修 (平成20年4月～ 延参加人数 56名)	○	ボランティア募集記事を広報紙に掲載 (平成20年12月)
		②こども新聞の発行 こどもたちの地域コミュニティへの参加と世代間交流の促進	1,860	年2回、40,000部発行	・ 編集会議を開催 (平成20年6・7・8月) ・ こども新聞 (第4号) を発行 (記者数14名 平成20年10月)	○	こども新聞 (第5号) の発行 (平成21年3月)
		③新住民の地域振興会加入の促進	—	地域振興会加入世帯の増加	・ 平成20年春、大規模マンション (セントプレイス大阪) に自治会が設立され、町会長会議の席に自治会長がオブザーバー参加した。(平成20年6月～) ・ 地域振興会加入に先立ち子ども会事業には参加 ・ 区広報紙に地域の活動の紹介記事を掲載 (随時)	△	大規模マンション (セントプレイス大阪) ・ 平成18年度入居部分には自治会が設立されたが、平成19年入居分については、未だ設立されていないため、引き続き町会加入に向けて継続して働きかける。 ・ 地域振興会と連携して管理組合並びに自治会に対して連合町会への加入促進を働きかける。

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○:達成できる △:達成できない可能性がある  
(※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。

1	2	3	4	5	6	7	8
現状認識	主な経営課題	取組み項目	②予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>高層住宅、街並み、人口構成など各地域における防犯、防災に関する課題は様々である。</li> <li>駅周辺などは、放置自転車やごみのポイ捨て等によりまちの美観を損ねているほか、歩行者の安全な通行に支障が生じている。</li> </ul>	<p><b>【安全・安心なまちづくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民自らの目線で特性や問題点を把握し、防災活動が主体的に展開できるよう、防災、減災の仕組みを確立するとともに、区民と協働で安全・安心のまちづくりを展開する必要がある。</li> <li>行政だけではなく、関係機関や地元との連携を強化し、環境美化や環境浄化の取組みを行っていく必要がある。</li> </ul>	①地域防災力の向上	4,878	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ3小学校区</li> <li>地域防災リーダー254名育成</li> <li>各地域防災訓練支援9箇所</li> </ul>	小学校区別ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>3小学校区で開催（①7～8月・②10月に一部開催 延参加人数 116名）</li> </ul> 地域防災リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>新任防災リーダー研修会を開催（平成20年6月29日開催 参加人数 81名）</li> <li>阿倍野防災センターで研修会を開催（平成20年7月13日開催 参加人数 69名）</li> </ul> 地域防災活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域での防災訓練を5地域で実施（平成20年5～10月 延参加人数 259名）</li> </ul>	○	小学校区別ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>未実施のワークショップを開催（平成20年11・12月）</li> </ul> 地域防災活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>残る4地域で防災訓練を実施（平成20年11・12月・平成21年2月）</li> </ul>
		②地域、学校、PTA と連携し、安全パトロールの実施	—	子ども見守り隊活動を地域毎に実施	子ども見守り隊 <ul style="list-style-type: none"> <li>淀川地域（平成20年8月 53名）</li> <li>友洲地域（平成20年6月 80名）</li> <li>他の校区でも各種グループが見守りを実施（平成20年4月）</li> </ul>	○	見守りグループを統合した見守り隊の発足を働きかける。
		③「京橋地域の安全なまちづくり事業」 放置自転車対策と環境美化推進のため、街頭啓発やキャンペーン活動を実施	400	街頭啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>放置自転車（毎週1回）</li> <li>環境美化（2週に1回）</li> </ul>	放置自転車対策街頭啓発（23回実施） （平成20年4月～ 毎週1回 午後4時～5時 京橋駅周辺で実施） 環境美化推進街頭啓発（18回実施） （平成20年4月～ 2週に1回 午後8時～9時 京橋駅前で実施）	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き街頭啓発を実施する。</li> <li>京橋地域のまちづくり勉強会を開催する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会の進展に伴い、生活習慣病の予防など、世代を問わず健康への関心が高まりを見せている。</li> <li>価値観や生活様式が多様化し、充実した生活を送るためのニーズが多岐にわたっている。</li> </ul>	<p><b>【誰もがいきいきと健康で暮らすことのできるまちづくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民が日常生活の中で、ライフサイクルに応じた健康づくりを実践することができるよう、地域住民と一体となった取組みを展開する必要がある。</li> <li>住みなれた地域で心と心がふれあい、いきいきと暮らすことができるよう、地域に根ざした取組みが必要である。</li> </ul>	①「みやっこみんなで健康づくり事業」	980	<ul style="list-style-type: none"> <li>体操の作成・普及</li> <li>健康づくりのつどい（参加者300名）</li> <li>健康づくりウォーキング（参加者300名）</li> </ul>	健康づくり体操 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり体操作成委員会の開催（平成20年8月～4回実施）</li> </ul> 健康づくりのつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのつどい実行委員会の開催（平成20年5月～4回実施）</li> </ul> 健康づくりウォーキング <ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体等と協議（平成20年7・8・10月）</li> </ul>	○	健康づくり体操 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのつどいで発表</li> <li>区内保育施設にDVD・パンフレット配布（平成20年12月）</li> <li>体操作成者を普及委員に依頼（平成20年12月）</li> </ul> 地域巡回健康展 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談・パネル展示・健康づくり体操の普及健康づくりのつどい（平成20年11月30日予定）</li> </ul> 健康づくりウォーキング （平成20年11月3日予定）
		②地域福祉アクションプランの推進支援事業	608	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域相談会の開催</li> <li>地域ミニコミ紙の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェスタの開催</li> <li>ホームページの更新</li> </ul>	○	地域相談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>都島区地域ふれあいフェスタで実施（平成21年3月1日 区民センターで開催予定）</li> </ul> 地域ミニコミ紙の発行（冊子の作成運付） <ul style="list-style-type: none"> <li>「都島区地域福祉アクションプラン分科会A報告」で各地域のミニコミ紙を総集した。（平成20年11月）</li> </ul> ホームページの更新（平成21年2月）

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○：達成できる △：達成できない可能性がある  
 (※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。

1	2	3	4	5	6	7	8
現状認識	主な経営課題	取組み項目	⑩予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)
		③包括支援センターや子育てプラザ等との連携や情報発信	—	子育て支援定例連絡会 毎月1回開催	区社会福祉協議会、子育てプラザとの連絡会 ・ 毎月1回開催(平成20年4月～) 事業、情報のピラを相互に窓口に設置(随時) 広報紙での情報発信(平成20年5月) 子育てサロンの訪問による状況把握(平成20年6月)	○	連絡会 ・ 毎月1回開催 情報発信 ・ 連絡会等で把握できた子育て情報を区広報紙で情報発信する。(随時)
		④生涯学習の推進 ・ 生涯学習ルーム ・ はぐくみネットを中心に学校と地域の連携	3,695	・ 区生涯学習推進計画に沿った事業の実施 ・ 生涯学習ルームの企画・運営及び生涯学習フェスティバルの開催 ・ はぐくみネット事業の実施及びはぐくみネット情報紙展の開催	① 区における生涯学習推進事業 ・ 都島区生涯学習だよりの発行:毎月(平成20年4月～) ・ 生涯学習指導者等研修会(平成20年6月～) ② 生涯学習ルーム事業 ・ 9ルーム 62講座(平成20年4月～) ・ 事業運営に関わる相談助言(平成20年4月～) ③ はぐくみネット事業 ・ 9校区で全校実施(平成20年4月～) ・ はぐくみネット事業への参加・見学(平成20年4月～) ・ 事業運営に関わる相談助言(平成20年4月～)	○	① 区における生涯学習推進事業 ・ 高校連携講座の実施(平成21年1・3月) ・ 区民名人に学ぶの実施(平成21年2月) ・ みやこじま大川自然発見ツアーの実施(平成20年12月・21年1月・2月) ・ 学ぶ!安全と安心の実施(平成21年1月・2月) ② 生涯学習ルーム事業 ・ 生涯学習フェスティバルの開催(平成21年3月8日 都島区民センターで開催予定) ③ はぐくみネット事業 ・ はぐくみネット情報紙展の開催(平成21年3月8日 都島区民センターで開催予定)
		⑤人権啓発の推進 ・ 地域に密着した人権学習会等の開催	4,272	市民とともに取り組む人権啓発	・ 憲法週間懸垂幕掲出 区役所正面(平成20年5月) ・ 憲法週間記念講演会(平成20年5月10日開催 参加人数 295名) 「松本サリン事件からの教訓」 講師:河野 義行氏 ・ 人権啓発推進員等問題研修会(平成20年7月17日開催 参加人数 19名) 「スマイル国のハートさん」 講師:NPO法人トッカピ子ども会 ・ 夏休みラジオ体操会において啓発資料3,000部を配布(平成20年8月) ・ 区民まつりにて啓発資料1,000セットを配布・啓発パネル展を開催(平成20年9月) ・ 2008 人・愛・ふれあいプラザ(平成20年10月18日開催 参加人数 625名) 講演とふれあいトーク&ライブ 講師:宮本 亜門氏・さとう宗幸氏 ・ 校下人権啓発活動推進事業(平成20年6・7・10月)	○	・ 城北・東人権フェスティバルふれあいシアター(平成20年11月12日開催 参加人数227名) 「明日への遺言」上映会 ・ 人権啓発広報紙「じんけんみやこじま」作成・発行(平成20年11月) 11月区広報紙折込各戸配付 ・ 人権週間懸垂幕掲出 区役所正面(平成20年12月) ・ ヒューマンライツin都島(平成20年12月6日 区民センターで開催予定) 「アフリカのおはなし～みんないっしょにおどろう」 出演:トリオ・ザ・バクルーツ ・ 成人の日のつどいにおいて啓発資料1,000部を配布・啓発パネル展を開催(平成21年1月12日 東高等学校で開催予定) ・ 人権啓発推進員等問題研修会(平成21年2月) ・ 校下人権啓発活動推進事業を全校下において、人権学習会・研修会を実施予定(平成20年11月～平成21年2月予定)

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○:達成できる △:達成できない可能性がある  
(※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	
現状認識	主な経営課題	取組み項目	⑩予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)	
<p>「地域のこどもは地域で守ろう」と区内の各種団体からなる青少年育成推進会議や青少年指導員が中心となって、青少年の非行防止と健全育成に取り組んでいる。</p>	<p>【青少年の健全育成の推進】 各地で青少年が加害者や被害者になる事件が相次いで発生していることから、青少年を見守り、育てていく活動の更なる広がりが必要である。</p>	①「こども 110 番の家」協力家庭・事業所の拡大	1,977	①こども 110 番事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>区広報紙で協力家庭等を募集（平成 20 年 7 月）</li> <li>区役所公用自転車前かごにステッカー取り付け。（平成 20 年 7 月）</li> <li>大阪府の動くこども 110 番の現状と府下のタクシー会社の協力状況把握（平成 20 年 9 月）</li> </ul>	○	①「こども 110 番の家」協力家庭・事業所の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>区民大会で更なる協力依頼（平成 21 年 1 月 31 日予定）</li> <li>区役所公用自転車へのステッカー取り付けの更なる協力依頼</li> <li>区内タクシー会社のステッカー取組状況の実態把握及び、他の行政機関と連携し、緊急時の協力体制確立</li> <li>区老人クラブ連合会会員自転車へのステッカー取り付けの更なる協力依頼</li> <li>区内各種団体へ事業説明と協力依頼</li> </ul>	
		②都島クリーン作戦の実施 ボランティア精神の育成と環境意識の向上		②区内小中学生 800 人参加			○	②都島クリーン作戦の実施（平成 20 年 11 月 23 日区内公園他で実施予定）
		③青少年育成区民大会の開催		③青少年健全育成に対する区民の意識高揚を図る			○	③青少年育成区民大会の開催（平成 21 年 1 月 31 日区民センターホールで開催予定）
<ul style="list-style-type: none"> <li>法律や制度改正が相次いでいるため、タイムリーかつわかりやすく伝えることが求められている。</li> <li>区政への関心の高まりとともに、区民のニーズも多様化している。</li> </ul>	<p>【広聴広報機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民の理解と協力を得て区政を推進するため、また、区民の参加と協働を促進するため、積極的な広報活動の展開と市民の声を広く聴く情報発信機能の強化が必要である。</li> <li>庁内の広聴広報機能を充実し、情報の一元化と共有化を図り、職員の広報マインドを高めていく必要がある。</li> </ul>	①広報「みやこじま」の充実 コミュニティペーパーとしての的確・タイムリーな情報、地域話題の掲載など	8,640	内容の充実に努め、より親しみのある広報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面構成を明確にして、情報の的確に伝達と、コミュニティづくりの促進を図った。（1 面は区からのメッセージを、4 面は地域や各種団体の活動取材した記事を掲載）（平成 20 年 4 月）</li> </ul>	○	専門家によるエッセイの掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>藤田真一関西大学教授の「毛馬のひと＝蕪村」を連続掲載（平成 20 年 11 月～）</li> </ul>	
		②区ホームページの内容充実とリンク先増設	936	区民に役立つ情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当の庶務担当係長等からなる例月の広聴広報幹事会で、ホームページ掲載内容を検討し充実を図った。（平成 20 年 4 月～）</li> </ul>		○	広聴広報幹事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月 20 日開催</li> </ul>
		③区内行事・業務カレンダーの発行と活用（毎月 15 日発行）	—	情報の積極的な発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>区と関係行政機関、区内各種団体の行事予定や区民にかかわる業務・行事を取りまとめ、区ホームページに掲載するほか、行政機関や各種団体へ配布した。（平成 20 年 4 月～）</li> </ul>		○	スポーツセンターの開放日やふれあい喫茶の日程など情報量を拡大（平成 20 年 11 月～）
		④広報紙モニターの実施 20 人募集、アンケート：毎月実施、モニター会議：年 2 回開催	—	区民ニーズを把握し、親しみのある紙面づくりに反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙モニターの設置（19 名）</li> <li>モニター会議の開催（平成 20 年 4 月）</li> <li>モニターアンケート（毎月）を実施（平成 20 年 4 月～）</li> <li>モニターの意見を即時に紙面構成に反映（平成 20 年 4 月～）</li> </ul>		○	モニターアンケートの実施（毎月） モニター会議を開催（平成 21 年 3 月）
		⑤区民情報コーナーの充実	295	区民情報コーナーの充実・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内のレイアウト変更と併せて情報コーナーを拡張し、区民が閲覧できるよう椅子及びテーブルを新たに設置（平成 20 年 10 月）</li> <li>設置チラシ・ポスターの適正管理</li> <li>期限切れチラシ等の速やかな除去を図った。（平成 20 年 10 月）</li> </ul>		○	引き続き、工夫を凝らしながら区民情報コーナーの充実を図っていく。
		⑥出前講座の拡大	—	区政への理解を得るとともに、地域に出向いての対話から把握した地域ニーズを、区政へ反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座を 15 回開催し、475 名の参加を得た。（平成 20 年 4 月～）</li> </ul>		○	他の担当や行政機関に働きかけ、区民ニーズを反映した新しいメニューの創設を図る。（平成 20 年 11 月）

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○：達成できる △：達成できない可能性がある  
 (※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。

1	2	3	4	5	6	7	8
現状認識	主な経営課題	取組み項目	⑩予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)
		⑦区民の声を区役所運営に活かすため、ご意見箱の設置や市政・区政へのアイデア募集	155	寄せられた区民の声を区役所運営に活かす	区民の声を共有し、解決すべき意見・苦情・アイデアを行政連絡調整会議及び区課長会に提案（平成 20 年 4 月）	○	従来の「市民の声」を収集するシステムを再検討し、実効ある制度を研究する。（平成 20 年 12 月）
		⑧区広聴広報委員会（四半期ごとに開催）、幹事会（毎月開催）の充実と活性化	—	情報の一元化と共有化を図る	広聴広報幹事会を開催（平成 20 年 4 月～）	○	広聴広報委員会（平成 21 年 2 月）
区役所は地域住民にとって身近な行政機関であり、区政への関心が高まっている。	【信頼され親しまれる区役所づくり】 適正・公正な信頼される区政を推進するとともに、厳しい財政状況の中、経営感覚やコスト感覚を意識した事務を執行する必要がある。	①総合企画担当の設置 企画立案・区業務の総合調整・広聴広報の充実	—	企画立案・区業務の総合調整・広聴広報の充実を図る	①企画調整 ・ 区の経営方針・取組方針の策定（随時） ・ 主要事業の企画及び進行管理（随時） ・ 区長改革マニフェストの推進（随時） ・ 区長施策要望（平成 20 年 6 月） ・ 行政連絡調整会議の運営（毎月 1 回実施 平成 20 年 4 月～） ・ 元気アップ会議で庁内ニューズレターを発行し、職員間の情報の共有化を図った。（平成 20 年 8 月～ 毎月 1 回） ②広報 ・ 広報紙の編集発行（平成 20 年 4 月～） ・ 区ホームページの運営・管理（随時） ・ 区内行事・業務カレンダーの発行（平成 20 年 4 月～） ・ 広報モニターの実施・運営（平成 20 年 4 月～） ・ 広報事業の充実（随時） ・ 庁内広報体制の確立（平成 20 年 4 月～） ③広聴相談 ・ 専門相談（法律相談）（平成 20 年 4 月～） ・ 市民の声対応（随時） ・ 出前講座の受付・調整及び企画・検討（随時） ・ 市長とふれあいタイム（平成 20 年 5 月） ・ 区広聴広報幹事会の開催（平成 20 年 4 月～）	○	①企画調整 ・ 区民懇話会の設立及び実施（平成 20 年 12 月） ②広報 ・ 広報計画の策定（平成 21 年 2 月） ③広聴相談 ・ 広聴広報委員会の開催（平成 21 年 2 月）
		②情報の積極的な公開と個人情報の適切な管理の徹底	—	個人情報保護の重要性についての再認識と管理の徹底	区が設定する課題監察を「個人情報の取扱い」に定め、全担当を対象に個人情報保護の重要性を再認識させるとともに管理の徹底を実施（平成 20 年 10 月）	○	・ 職員からのヒアリング調査を経て、区内部統制連絡会議で結果を報告し、個人情報保護の重要性を再度徹底（平成 20 年 11 月） ・ 引き続き、監察結果を基に担当ごとの事務打合わせ会など、あらゆる機会を通じて個人情報保護の重要性を周知するとともに、庁内ポータル等も活用し、事務事業の透明性の確保と個人情報保護の意識向上を図る（平成 20 年 12 月～）
		③プライバシーに配慮した受付窓口と相談室の設置	—	相談室の増設（1 室→3 室）	旧税務担当の空きスペースを活用し、地域保健福祉担当に個別相談ブースを増設（平成 20 年 9 月） 待合スペースの狭さを解消するため、受付カウンターの配置を変更し、面談中のプライバシーを保持できるよう廊下等の共用スペースを拡充（平成 20 年 9 月）	○	
		④職員一人ひとりの接遇技術の向上	—	接遇研修の実施	職員を補職ごとに 3 階層に分け、階層別接遇研修を実施した。（合計 8 回、平成 20 年 7 月）	○	これまでの研修実績を風化させないよう職員に実践させていく。

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○：達成できる △：達成できない可能性がある  
(※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。

1	2	3	4	5	6	7	8
現状認識	主な経営課題	取組み項目	⑩予算 (千円)	業績目標	取組みの状況 (実施年月)	業績目標の 達成見込 (※1)	今後の予定 (実施予定年月) (※2)
		⑤省エネルギー行動、ペーパーレス化等の徹底	—	平成 19 年度決算額より光熱水費を 3%削減	庁内ニュースレターを活用し、職員に意識啓発を行った。(平成 20 年 10 月)	○	周知啓発と室温や暖房の設定温度の管理を徹底する。
		⑥広告をはじめとする収入の確保	—	新たな収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>区広報紙の第 1 面に 2 枠の広告枠を設置 (平成 20 年 4 月～)</li> <li>区ホームページに 11 枠のバナー広告を設置 (平成 20 年 4 月～)</li> </ul>	○	自動販売機の増設を検討する。(平成 20 年 11 月)
		⑦国民健康保険料の納期内納付の確保	—	口座振替の加入促進 (目標加入率 50%)	新規加入時や来庁納付時に口座振替の利便性を説明し、利用率の向上を図った。(平成 20 年 10 月末現在、49.08%)	○	引き続き、口座振替の利便性を説明し、利用率向上を図る。

(※1) 「業績目標の達成見込み」 ○：達成できる △：達成できない可能性がある  
 (※2) 業績目標の達成見込みを踏まえ、今後年度内にどのように取り組むか記述してください。